

「大台ぞろ目記念で、お嫁にもらってください」



「全国プロポーズの言葉コンテスト」で写真に納まる(左から)審査員の早見優さん、特別賞の野原亜希さんと内田あゆみさん、最優秀賞の渡辺宮子さん、審査員の島田晴雄さん、ゲストの鳩山幸さん

＝2日、東京・六本木

会場には鳩山由紀夫民主党代表の夫人幸さんも訪れ、「そのうち一緒に住むんじゃないの」という幸さんからの言葉が、二人の間ではプロポーズらしいものに当たると語った。

コンテストは今年で3回目。主催は静岡市の特定非営利活動法人(NPO法人)地域活性化支援センターで、過去最多681件の応募があった。

求婚の言葉コンテスト 最優秀賞

「全国プロポーズの言葉コンテスト」の結果発表と表彰式が2日、東京・六本木ヒルズの展望台で開かれ、最優秀賞に東京都江戸川区の非常勤職員渡辺宮子さん(32)の「大台ぞろ目記念で、お嫁にもらってください」が決まった。

渡辺さんは一年半付き合っている男性に対し、自分の33歳の誕生日に「逆プロポーズ」したい意気込みを

渡辺さん(東京)ら表彰

表明。タレントの早見優さんから、賞品として時計(10万円相当)などが手渡された。

特別賞は2作品。一つは宮崎県小林市のアルバイト内田(旧姓大石)あゆみさん(27)の「内田あゆみ。大石あゆみ。どっちか好きな名前を選んでよ」。もう一つは東京都墨田区の会社員野原亜希さん(27)が自分から贈る予定の「今からプロポーズします」が選ばれた。